

令和4年(2022年)3月22日

地域包括支援センターから居宅への介護予防支援等業務の委託についての
アンケート調査結果について

1. アンケート概要

実施方法:e-kanagawa による Web アンケート

(介護情報サービスかながわのメール配信にて周知)

実施期間:令和3年(2021年)12月17日～令和4年(2022年)1月17日

対象:市内の居宅介護支援事業所

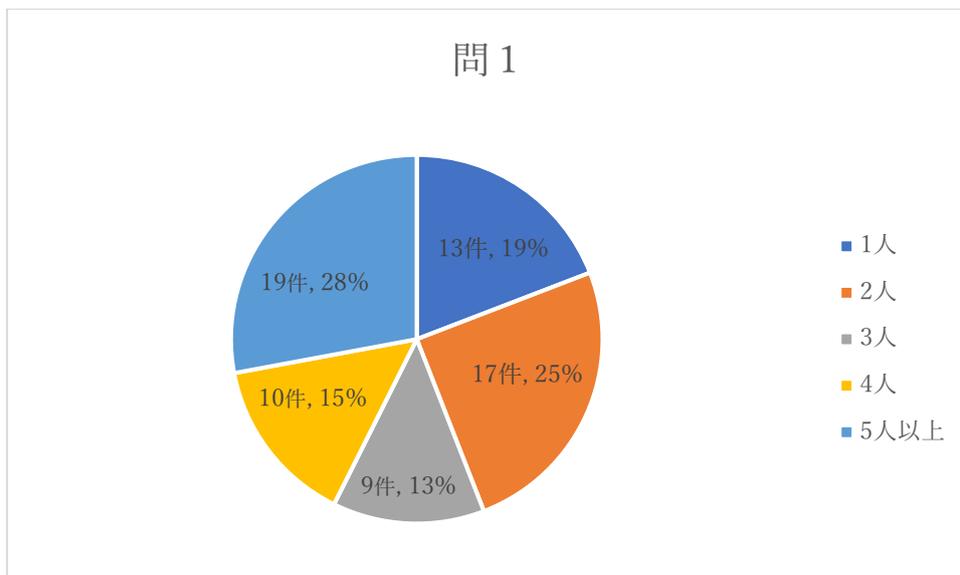
目的:地域包括支援センターから居宅介護支援事業所への予防プランの委託について、
単価以外で障害となっているものは何か明らかにすること

2. 回答件数

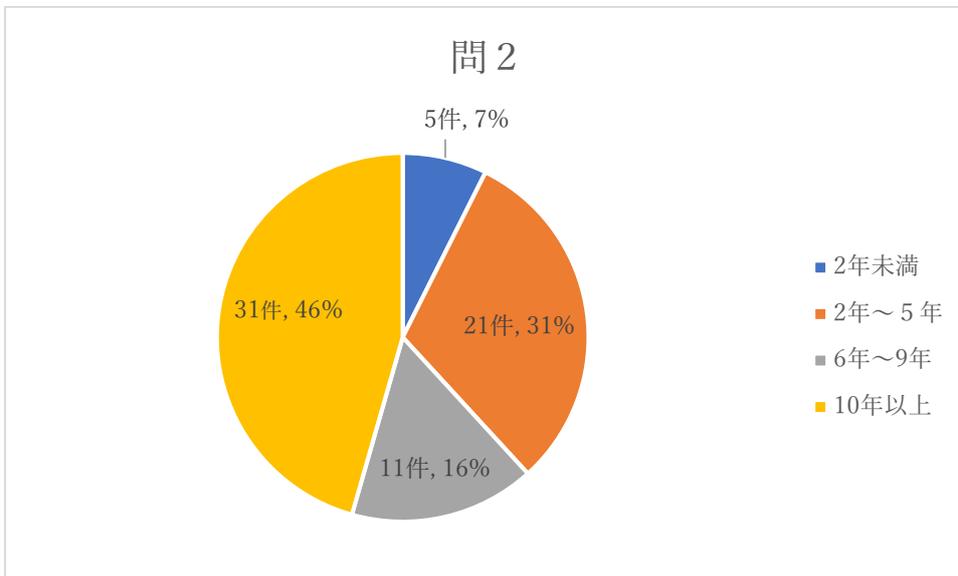
68件 市内全居宅介護支援事業所数の57.1% (市内居宅介護支援事業所数 119)

3. 回答結果

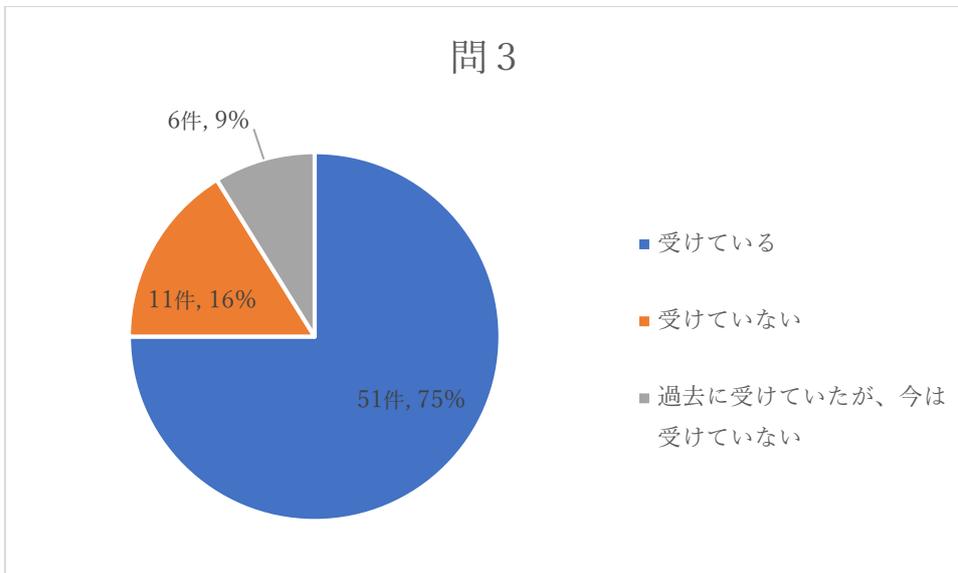
<問1> 事業所の従業員数は何人ですか



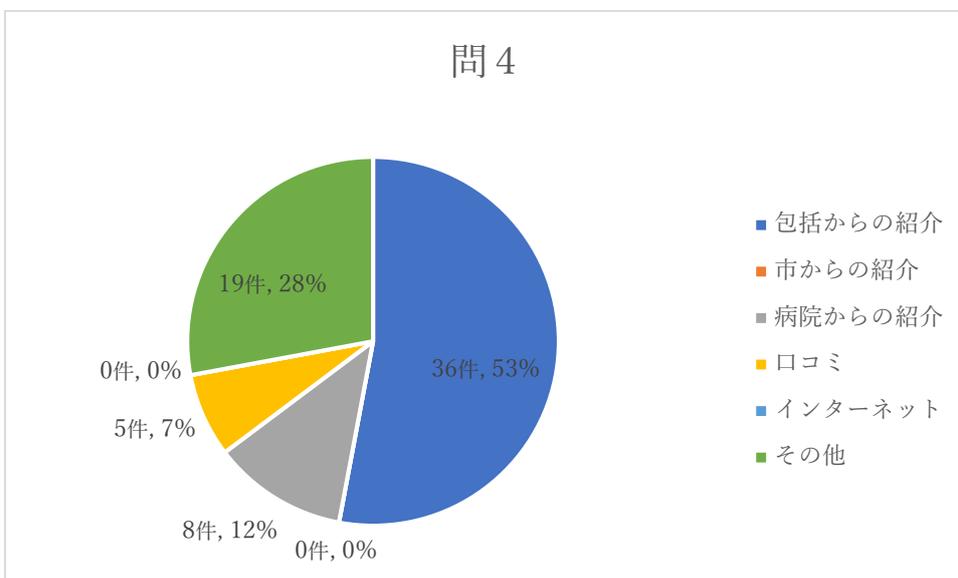
<問2> 事業所を開所してから何年経過していますか



<問3> 地域包括支援センターから、要支援認定者等のケアプラン作成の委託を受けていますか



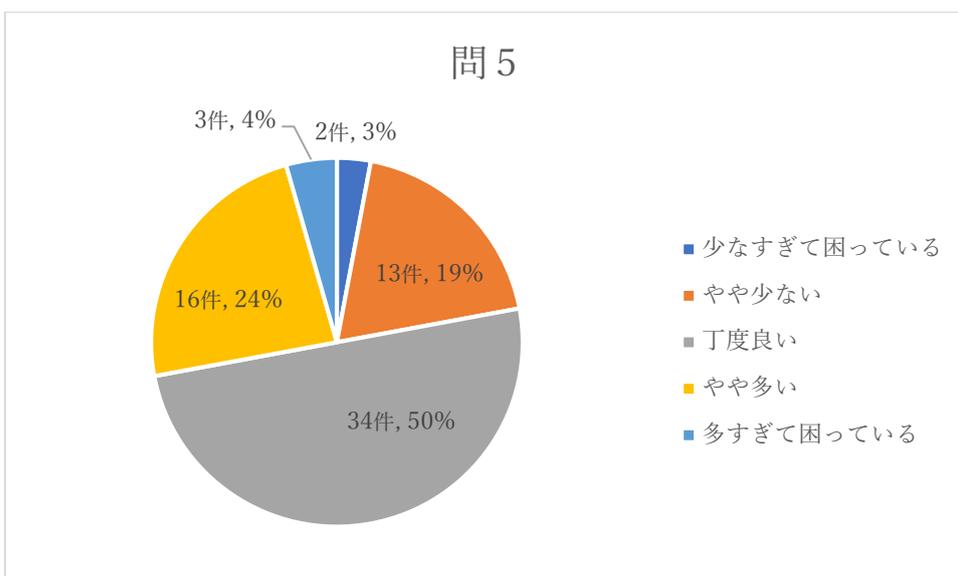
<問4> 利用者が貴事業所を利用するに至ったきっかけで最も多いものは何ですか



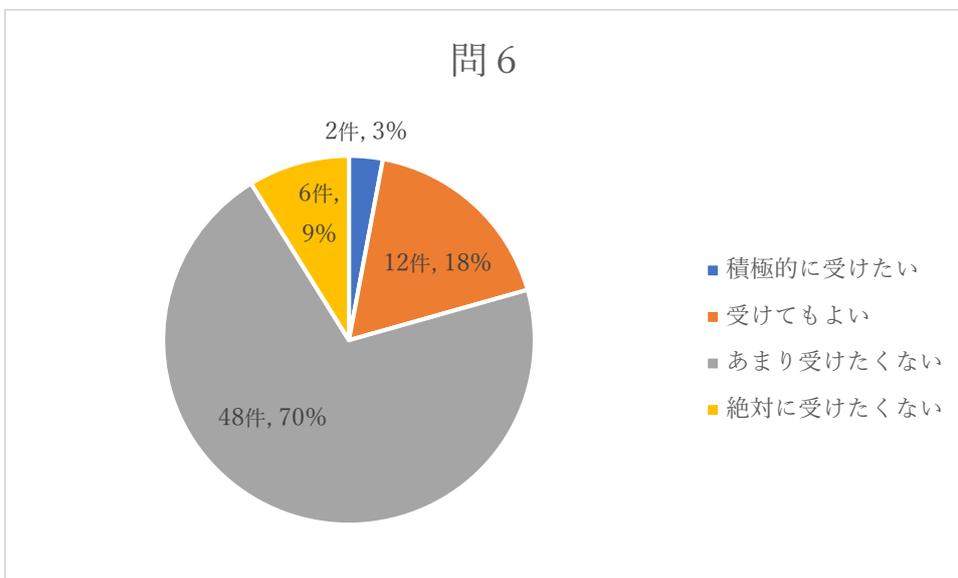
(その他の例)

- ・要介護から要支援の認定になった為
- ・家族や利用者本人から直接

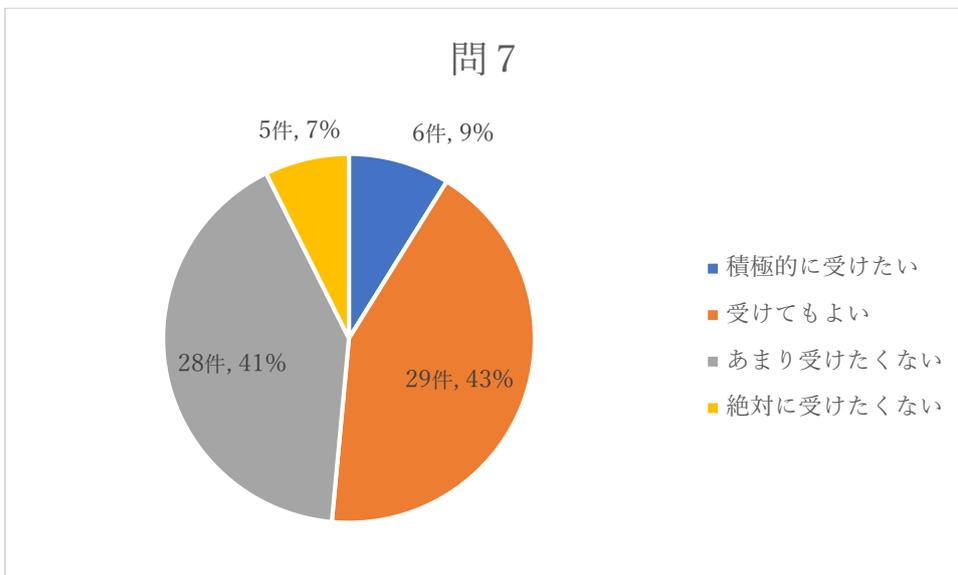
<問5> 利用者数はどのような状況ですか



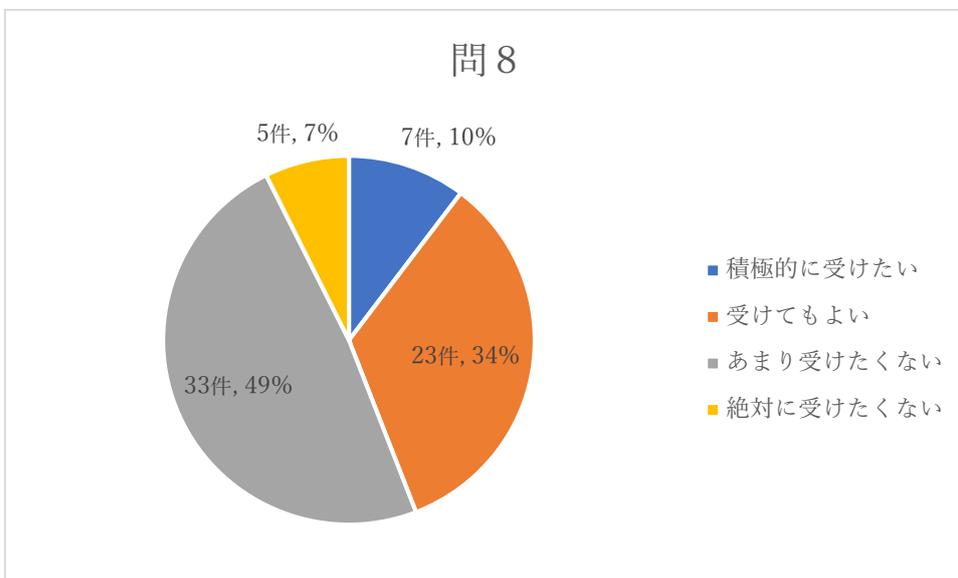
<問6> 要支援認定者等のケアプラン作成の委託を受けることについてどう考えていますか



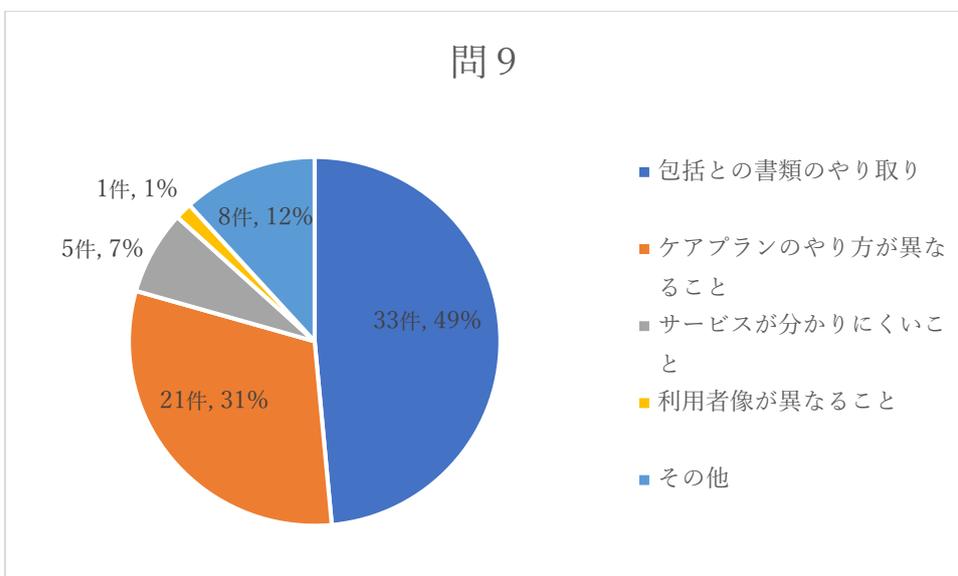
<問7> 家族の一人が要介護認定を受けている状況で、同居している他の家族が要支援認定を受けた場合、要支援認定者等のケアプラン作成の委託を受けますか



<問8> 要介護認定を受けて担当していた利用者が要支援となった場合、要支援認定者等のケアプラン作成の委託を受けますか



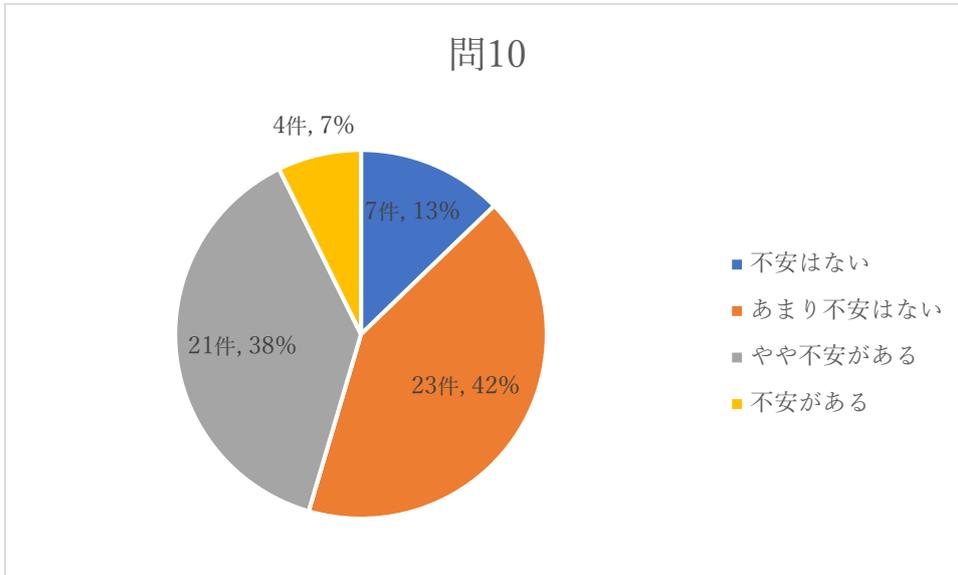
<問9> 要支援認定者のケアプラン作成の委託を受けるにあたって最も手間と感ずることは何ですか



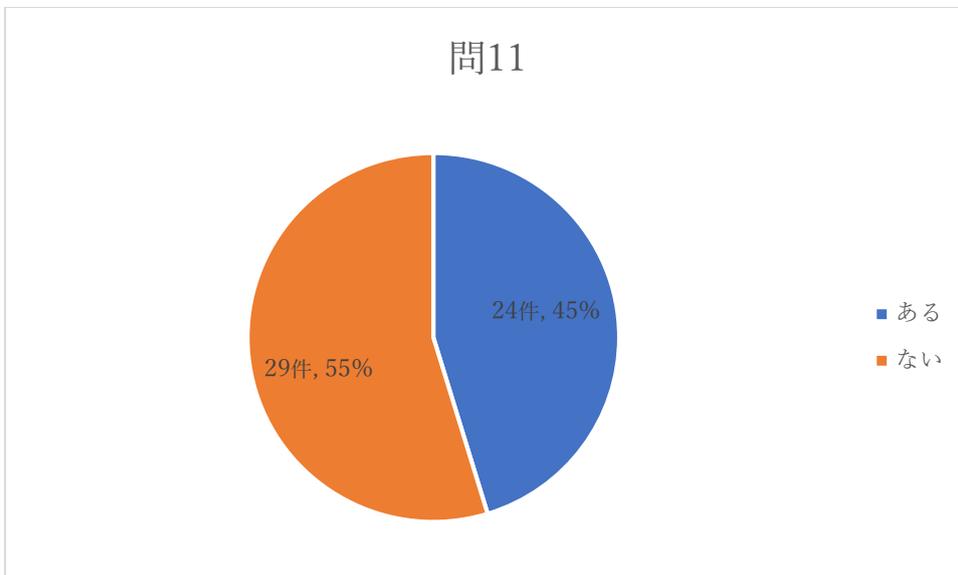
(その他の例)

- ・全部です
- ・介護ソフトを新しく導入するための手間と費用面で厳しい

<問 10> 要支援認定者のケアプラン作成に不安はありますか



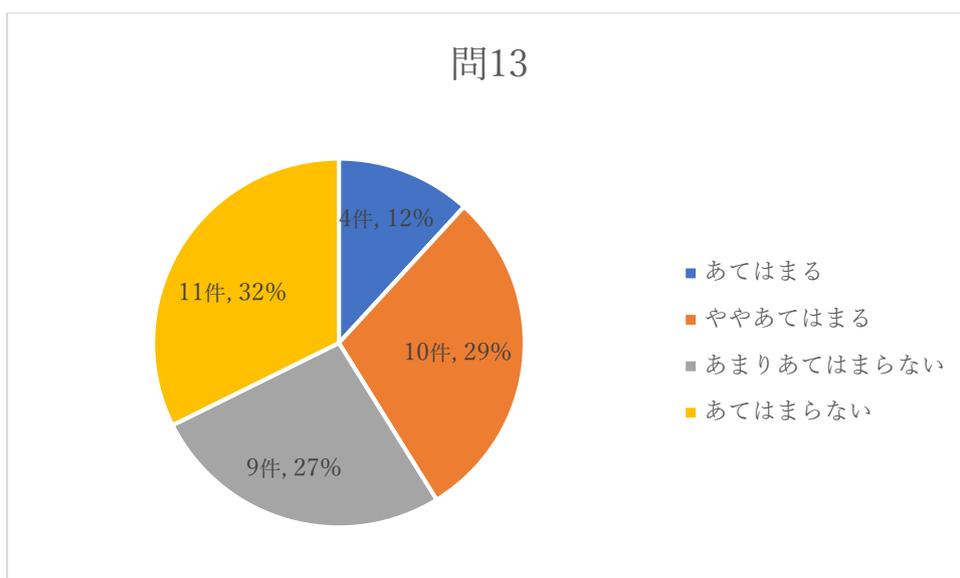
<問 11> 地域包括支援センターによって、事務手順やケアプラン作成の方法が違うと感じることはありますか



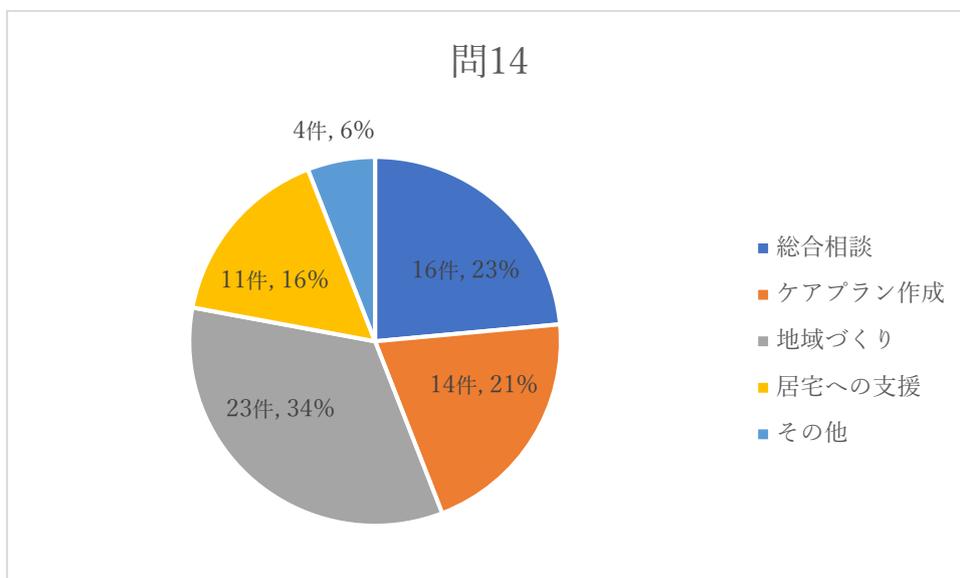
<問 12> どのようなことで、地域包括支援センターによって違うと感じたか教えてください
(解答例)

- ・提出書類の種類や期限
- ・親身になって対応してくれる包括と、上から目線で命令されているように感じる包括がある
- ・サービス提供内容の必要性に関して、各包括での見解の相違
- ・委託を受けた後、丸投げのところもあれば、気に掛けて連絡をしてくれるところもある
- ・書類の提出方法(郵送可のところもあれば、持参必須のところもある)
- ・契約時に同行訪問する包括とそうでない包括がある

<問 13> 要支援認定者のケアプラン作成への不安が委託を受けていない要因としてあてはまりますか



<問14> 包括に最も力を入れてほしいと思う仕事は何ですか



(その他の例)

- ・支援困難者へのフォロー協力体制(虐待・境界層等)
- ・介護保険でカバーしきれない困りごとへの対応

<問15> 包括についてのご意見・ご要望

(一部抜粋)

- ・各包括支援センターによって居宅介護支援事業所に対する温度差も感じます。もちろん全ての方ではありませんが、対等な立場で接して頂ける事を切に願っております。
- ・地域にいるケアマネージャーが気軽に相談が出来、一緒に考えて行動してくれる、頼れる存在の包括であってほしいです。
- ・各々の包括ごと、地域にある社会資源をもっと情報発信してもらいたい。
- ・ケースワークで共に悩み・共に動く包括を強く願います。(解決は結果なので求めてはいない)
- ・委託を受ける場合の基本情報をもっと詳しいとありがたいです。
- ・正直な話、多忙な中で単価の低く手間のかかる要支援のプランは担当したくないと感じてしまいます。包括さんもお忙しいと思うので、もっと書類やルールの簡素化ができれば敬遠しづらくなるかとは思っています。